

科目名称	義肢装具学
授業コード	AD353
英語名称	Prosthetics and Orthotics
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	青柳 達也, 豊田 輝
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	リハビリテーションとは残存した機能を最大限に活用し、より人間らしい生活を獲得することである。残存した機能を補助するものの一つとして義肢・装具があり、古くからリハビリテーション手段として用いられてきている。そこで本講では、理学療法士として義肢療法の経験を持つ教員が臨床能力として必要不可欠である断端管理方法や大腿・下腿義足アライメント調整方法などの理学療法について講義する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法士を目指すうえで必要な義肢学の臨床応用について、理学療法士として臨床・教育・研究経験豊富な教員が実技や演習を交えながら講義する。
到達目標	本科目は、カリキュラム・ポリシーに掲げる「基礎的な理学療法の知識をもとに発展的な理学療法の知識や技能を学ぶ科目」であるため、理学療法士として義肢療法における専門性の確立を目指した実践、教育、研究の基盤を身につけ、医師や義肢装具士など他領域の人々と連携できる学際的な能力を構築し、将来、専門職として、幅広い社会的活動を通じて社会に貢献できる人材を目指す。
計画・内容	担当教員：青柳達也（理学療法士）、豊田輝（理学療法士） 1. 股義足ソケット・アライメント、下腿義足ソケット（在来式・PTB・PTS） 担当：青柳
授業の進め方	指定教科書に沿いながら適宜、プリントを配布し、オンデマンド教材による予習、講義、および学修内容により少人数教育を取り入れたアクティブ・ラーニングを展開させ演習なども行う。また、演習では授業内で課題レポートの提出を求める。
能動的な学びの実施	適宜、アクティブ・ラーニングを取り入れ、授業内でグループ単位でのディスカッションなどの演習を行う。また、実際に義足を手に取り学ぶ機会を設けるほか、模擬義足装着体験や取り扱い体験を通じて理学療法士としての臨床応用に繋がる学修機会を設ける。その他、オンデマンド教材も積極的に活用させ、授業内で確認テストを行うとともにその解説を行い、授業回ごとに理解度の振り返りを行う。
授業時間外の学修	授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと（各回1時間～2時間）
教科書・参考書	教科書：豊田 輝・石垣栄司編集、「義肢・装具学 異常とその対応がわかる動画付き（第2版）」、羊土社、2023年
成績評価方法と基準	評価基準は、レポート課題（10%）と到達目標に記載した内容の理解度による期末試験（90%）

課題等に対するフィードバック	レポートを実施した場合は、授業内で解説を行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	授業には指定教科書を必ず持参すること。また、オンデマンド教材は各自が授業前に必ず視聴し予習に努めること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none">・学修内容に応じて「zoomによるオンライン授業」、「動画配信によるオンデマンド授業」、「それらを組み合わせたハイブリッド授業」を実施する。また、授業内容への理解を深めるための演習課題も組み合わせて実施する。 <p>成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none">・授業中課題50%と期末課題レポート50%で評価する。